

IMPOSSIBLE ARCHITECTURE

13 APR. —
15 JUL.
2019

Niigata City
Art
Museum

ANOTHER HISTORY OF
ARCHITECTURE

もうひとつの建築史

| 休館日 | 月曜日・5月7日(火) [4月29日・5月6日・7月15日は開館] || 開館時間 | 9:30-18:00 [券売は17:30まで] || 観覧料 | 一般1000円(800円)、大高生800円(600円)

● ()内は20名以上の団体およびリピーター割引料金 ● 中学生以下無料 ● 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、および一部の介助者は無料(受付でご提示ください)

| 主催 | 新潟市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 || 共催 | TeNY テレビ新潟 || 監修 | 五十嵐太郎

| 協賛 | ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜 || 協力 | Estate of Madeline Gins / Reversible Destiny Foundation

| 後援 | 公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部 新潟地域会、一般社団法人 新潟県建築事務所協会、一般社団法人 新潟県建築士会

2019年4月13日 | 土 | - 7月15日 | 月・祝

会期中に一部展示替えがあります。
前期：4月13日|土|-5月26日|日| 後期：5月28日|火|-7月15日|月・祝|

SI-
RCHI-
TURE



● マーク・フォスター・ゲージ (ヘルシンキ・グッゲンハイム美術館)
コンピューター・グラフィックス | 2014年
Image courtesy of Mark Foster Gage Architects

IMPOSSIBLE ARCHITECTURE
2014

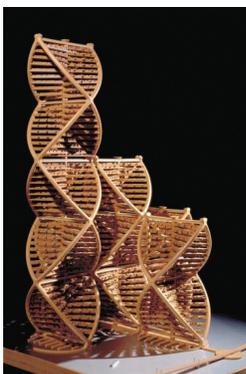
インポッシブル・アーキテクチャー

テクチャー

インポッシブル・アーキ

新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9 | TEL. 025-223-1622 | FAX. 025-228-3051
<http://www.ncam.jp/> | <http://www.facebook.com/ncam.tsunagaru/>



上段左より ● 映像制作・監督：長倉威彦 | コンピューター・グラフィックス：アンドレ・ザルジック、長倉威彦、ダン・ブリック、マーク・シッチ(ウラジーミル・タリン「第三インターナショナル記念塔」(1919-20年)) | コンピューター・グラフィックス | 1998年 | ● ブルーノ・タウト 書籍「アルプス建築」より挿図 | 1919年 | 東京都立大学図書館(蔵田周忠文庫)蔵 | 写真提供：新潟県立万代島美術館 | ● 村田豊「ソビエト青少年スポーツ施設」模型写真 | 1972年頃 | 個人蔵 | ● 会田誠「シン日本橋」紙、クレヨン、アクリル絵具 | 2018年 | ©AIDA Makoto | Courtesy Mizuma Art Gallery | 撮影：宮島徑 | ● 下段左より ● ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ「フリードリヒ通り駅の摩天楼」コンペ案 | 写真など(展示は複製) | 1922年頃 | Bauhaus-Archiv Berlin, Foto: Markus Hawlik | ©VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2018 E3218 | ● ヤーコフ・チェルニホフ 書籍「建築ファンタジー 101のカラー・コンポジション」101の建築小図より挿図 | 1933年 | 個人蔵 | ● 黒川紀章「東京計画1961」— Helix計画」模型 | 1961年 | 森アートコレクション、東京 | 撮影：大橋富夫 | ● 藤本社介「ベトンハラ・ウォーターフロント・センター」設計競技1等案 | コンピューター・グラフィックス | 2012年

出品予定作家 | アルファベット順

- 会田誠
- 安藤忠雄
- 荒川修作+マドリン・ギンズ
- アーキグラム
- ヤーコフ・チェルニホフ
- ヨナ・フリードマン
- 藤本社介
- マーク・フォスター・ゲージ
- ピエール＝ジャン・ジルー
- ザハ・ハディド+設計JV
- ジョン・ヘイダック
- ハンス・ホライン
- 石上純也
- 磯崎新
- 川喜田煉七郎
- 菊竹清訓
- レム・コールハース / OMA
- 黒川紀章
- ダニエル・リベスキンド
- 前川國男
- カジミール・マレーヴィチ
- ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ
- 村田豊
- 長倉威彦
- コンスタン・ニーヴェンホイス
- 岡本太郎
- セドリック・プライス
- エットレ・ツトサス
- スーパースタジオ
- 瀧澤真弓
- ウラジーミル・タリン
- ブルーノ・タウト
- ジュゼッペ・ペラーニ
- 山口晃
- 山口文象(岡村蚊象)

インポッシブル・アーキテクチャー —— もうひとつの建築史 | IMPOSSIBLE ARCHITECTURE – ANOTHER HISTORY OF ARCHITECTURE

● 建築の歴史を振り返ると、完成に至らなかった素晴らしい構想や、あえて提案に留めた刺激的なアイデアが数多く存在しています。未来に向けて夢想した建築、技術的には可能であったにもかかわらず社会的な条件や制約によって実施できなかった建築、実現よりも既存の制度に対して批評精神を打ち出す点に主眼を置いた提案など、いわゆるアンビルト/未完の建築には、作者の夢や思考がより直接的に表現されているはずです。● この展覧会は、20世紀以降の国外、国内のアンビルトの建築に焦点をあて、それらを仮に「インポッシブル・アーキテクチャー」と称しています。ここでの「インポッシブル」という言葉は、単に建築構想がラディカルで無理難題であるがゆえの「不可能」を意味しません。言うまでもなく、不可能に眼を向ければ、同時に可能性の境界を問うことにも繋がります。建築の不可能性に焦点をあてることによって、逆説的にも建築における極限の可能性や豊穡な潜在力が浮かび上がってくる——それこそが、この展覧会のねらいです。● 約40人の建築家・美術家による「インポッシブル・アーキテクチャー」を、図面、模型、関連資料などを通して読み解きながら、未だ見ぬ新たな建築の姿を展望します。

関連事業

シリーズ・レクチャー「もうひとつのモダニズム」

会場=新潟市美術館 講堂
各日とも午後2時-(約90分)/聴講無料(先着80名)

- 第1回 | 前川國男の戦前期のコンペ応募案をめぐって
講師=松隈洋さん(京都工芸繊維大学教授)
日程=4月14日[日]
- 第2回 | 父・村田豊の建築
講師=村田あがさん(村田豊長女、跡見学園女子大学教授)
日程=4月28日[日]
- 第3回 | もうひとつの東京オリンピック
講師=藤井素彦(新潟市美術館学芸員)
日程=5月12日[日]
- 第4回 | アンビルト概説——ロシアを中心に
講師=前山裕司(新潟市美術館館長)
日程=6月22日[土]

みどころ解説「なぜ建物は建たなかったのか」

講師=藤井素彦(新潟市美術館学芸員)
会場=新潟市美術館 講堂
日時=4月21日[日]・5月26日[日]・7月7日[日]
各日とも同内容、午後2時-(約60分)

同時開催

コレクション展III 美術の偶然!

—4月14日[日]

コレクション展I SUMU—すむ—

あなたのおうちはどこですか
4月23日[火]—8月4日[日]
学芸員のギャラリートーク= 4月27日[土]・5月25日[土]・6月29日[土]・7月27日[土]
いずれも午後2時-(約30分、要観覧券)

ふれあい美術館ガイド

美術館協会ボランティアによるコレクション展のご案内と解説 | 日時=5月19日[日]・6月16日[日]・7月14日[日]
いずれも午前11時-(約40分)
集合場所=当館エントランスホール(要観覧券)

新潟市新津美術館の展覧会

[TEL.0250-25-1300]
追悼水木しげる「ゲゲゲの人生展」
3月23日[土]—6月2日[日]
光と遊ぶ超体感型ミュージアム 帰ってきた!魔法の美術館
6月15日[土]—9月1日[日]

Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL.025-223-1622 FAX.025-228-3051

http://www.ncam.jp/

Facebook: http://www.facebook.com/ncam.tsunagaru/



[交通案内] ●バスで(新潟駅万代ロバスターミナルから)[B1] 萬代橋ライン(BRT)など乗車約10分→バス停「古町」下車→徒歩約12分(約860m) *「古町」でとまるバスは、もっとも便数が多いです。●タクシーで 新潟駅万代口から約10分 ●駐車場が混雑することがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。お車で越越しの場合、「新潟市西堀地下駐車場」をご利用の方には、60分無料券をお渡ししています。